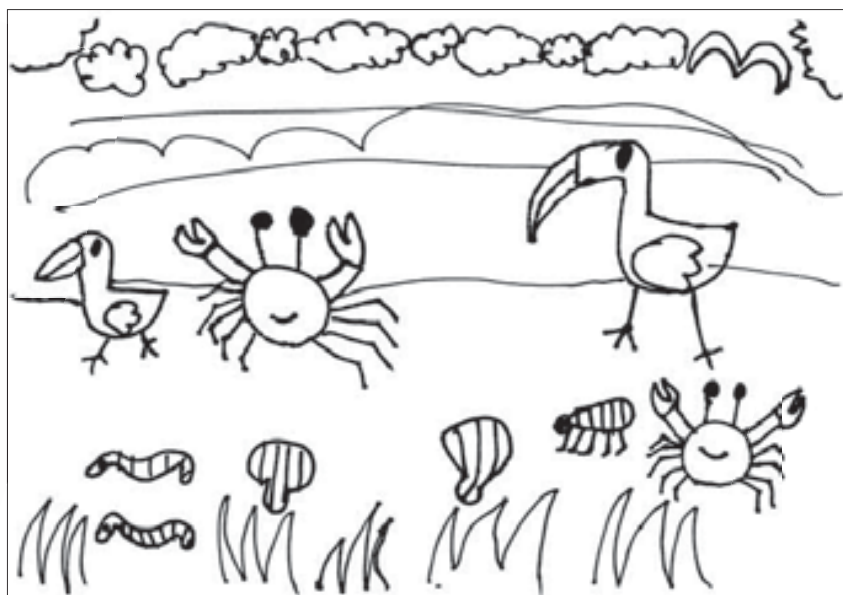




ロシアの武力による侵略や核による威嚇には反対します！戦争は最大の環境破壊です！
一日も早く、ウクライナに平和を、世界中に平和が訪れることを心より願っています



「香椎保育所」さくら組の子ども絵「わじろひがたへいったよ」

ご案内

★第24期 和白干潟の自然観察ガイド講習会★

かいていゆうすい

「和白干潟の海底湧水を調べよう！」

和白干潟には全国の干潟では2か所だけといわれる貴重な自然海岸が残っています。砂浜、アシ原、樹林帯、淡水湿地など干潟本来の自然の景観が残っており、干潟の生きものが豊富で、渡り鳥の渡来地にもなっています。沿岸が開発されていないことで、海底湧水が湧いていると言われています。和白干潟を守る会では、博多湾に残された和白干潟の大切さを観察会を通して伝えています。和白干潟の観察会のガイドを育成するための講習会を開催します。自然を体験して学習します。参加をお待ちします。（初心者歓迎）

●と き：5月1日（日）受付12:30 開始13:00～17:00

雨天決行 大潮 干潮16:03 満潮 9:54

●集合：和白干潟を守る会 事務所（福岡市東区和白1-14-37 海のきりえ館1階）

●講師：新井 章吾 氏：海藻研究所 所長

●参加費：300円 ●募集：15名

●持ち物：筆記具、飲み物

500ccのペットボトル（海底湧水を持ち帰ります）

●服 装：長そで、長ズボン、帽子、長靴、（雨具）

●主催：和白干潟を守る会

●お問い合わせ：TEL 090-8412-2663（山之内）

参加者はマスク着用など、コロナ対策をして来てください。



和白干潟

2022年度 和白干潟を守る会 総会報告 (松藤 真理奈)

主な役員と事務局組織

2月26日に2022年度総会を開催しました。参加者は14名。山本代表が開会宣言をし、会の環境保全活動は33年を経過、干潟を未来の子どもに残す活動を継続する旨を伝えました。(以下、山本代表の開会挨拶より抜粋します)。

「昨年も世界中で新型コロナウイルス感染症が流行し、日本も年末年始、5月と8月に感染拡大が起こり、活動が制限されました。昨年10月からは感染が収まりつつあり、このままの収束を願うばかりです。今年こそ楽しい和白干潟まつりを開催したいですね。今後も和白干潟が『ラムサール条約登録湿地』となるように希望をもってがんばりましょう！引き続き若い人たちの活動への参加を心から待っています！」



役 員		主な活動内容
会 長	ミヤコドリ	観察会 クリーン作戦 干潟まつり ＨＰ編集・通信 調査、写真 記録、会計 名簿・通信配布管理 助成金、監査 保全のつどい 山・川・海流域連携 資料点検
代 表	山本 廣子	
事務局		
事務局長	松田 元	
事務局次長	田浦征太郎	
会 計	山之内 芳晴	
	田辺 スミ子	
	南 のり子	
監 事	松尾 満子	
	今林 眞由美	



2022年度活動方針 私たちは、この方針で1年間取り組みます！

1. 和白干潟環境教育プログラムによる「自然観察会」、「クリーン作戦と自然観察」、「和白干潟まつり」「学習会などの企画」を通して、多くの市民、特に若い世代や子どもたちに和白干潟の自然の大切さを認識してもらい、自然保護の気運を高める。
2. 和白干潟の大切さと保全の必要性を広く社会に訴えるため、和白干潟を取り巻く自然環境の変化について、干潟及びその周辺の生物の調査、漂着ゴミ調査などの活動を継続し、調査結果を公表する。
3. 貴重な鳥類をはじめとする生物多様性に富む和白干潟を「ラムサール条約登録地」とするための取り組みを強化する。博多湾の自然を壊す人工島などの公共事業には厳しい監視と関心を持って対処する。今ある自然を壊さないこと、壊れた自然は元の自然に戻すことを目指す。和白干潟の生態系を守るために、山・川・海の流域連携に取り組み、地域の自然再生への取り組みを進める。和白干潟を守る会の活動をより広く知ってもらい、活動への参加者、賛同者を増やすために広報活動を強化する。

2021年度決算と2022年度予算



(単位：万円)

●2021年度決算

当期収入は178万円で、主な収入は会費33万円、寄付金57万円、助成金等84万円と事業収入が4万円です。当期は企業や個人から寄付を頂きました。支出は156万円で、主な事業支出は通信発行費・観察会事業費・消耗品備品費です。収支は22万円の黒字で、次年度への繰越は364万円となりました。

●2022年度予算

当期収入は196万円を見込み、支出は199万円を計上しました。会費、寄付金など貴重な収入を大事に使っていきます。



	2021年度 決算	2022年度 予算
当期収入	178	196
当期支出	156	199
収支差額	22	3
前期繰越金	342	364
次期繰越金	364	361

和白干潟を守る会の活動を紹介します！（山之内 芳晴）

守る会では様々な活動を行っています。皆様のご参加をお待ちしております。

●干潟で自然の大切さを伝える活動（観察会や干潟まつり）

学校や様々な団体の依頼を受けて、和白干潟自然観察会を実施しています。昨年は新型コロナウイルス感染予防のために大きく減り、2回の実施となり、延べ150名の参加がありました。また、毎年11月には「和白干潟まつり」を開催していますが、昨年は新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。



●和白干潟のクリーン作戦と自然観察

毎月第4土曜日の15時～17時に、海の広場から唐原川河口までの範囲を中心に企業や学生を含む一般のボランティアと共に清掃し、清掃後には自然観察も実施しています。昨年は毎月定例のクリーン作戦のほかに観察会時の清掃も加えると年間12回行い、延べ639人が参加、1077袋のゴミを回収しました。昨年は新型コロナウイルス感染予防のため、5月、8月、9月は一般に呼びかけず守る会会員と当日来られた人で行いました。



●和白干潟周辺の自然の調査

環境省、NPO法人バードリサーチ、JEAN（クリーンアップ全国事務局）などの依頼を受けて、年間を通してシギ・チドリ調査、水鳥調査、ゴミ内容調査に参加しました。（鳥9回、漂着ゴミ1回）



●和白干潟の水質調査と砂質調査（毎月実施）

下の表は2021年10月から2022年3月までの水質調査と砂質調査結果です。水質調査についてはCODが4の月もあり、改善傾向にあります。砂質調査については、前年度同様で浜辺側の表層酸化層が薄く悪化しています。（表層酸化層が厚いほど砂質が良いことになります）

水質調査結果（2021年10月～2022年3月）

測定項目	単位	10月	11月	12月	1月	2月	3月
リン酸イオン（PO ₄ ）	mg / l	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
化学的酸素要求量（COD）	mg / l	5	5	5	5	4	5
亜硝酸（NO ₂ ）	mg / l	0.005	0.02	0.02	0.02	0.01	0.005
透視度	cm	80	75	20	55	65	27

砂質調査結果（2021年10月～2022年3月）

測定項目	単位	10月	11月	12月	1月	2月	3月
10㍿地点 表層酸化層の厚さ	mm	4	1	8	5	10	20
還元層の黒色度	—	14	13	13	13	13	13
150㍿地点 表層酸化層の厚さ	mm	9	26	40	37	48	32
還元層の黒色度	—	12	13	13	12	12	12

●山・川・海の流域会議

和白干潟を守る会は、立花山を源流として和白干潟にそそぐ唐原川、この集水域全体を保全することが必要だと、流域の保全グループに呼び掛けて、2012年7月に「山・川・海の流域会議」が発足しました。立花山から和白干潟までの5団体と個人で構成しています。2か月に1回定例会を開き、2021年1月には「新春講演会」を開催し、10月には「唐原川お掃除し隊」を行いました。

和白干潟を守る会へのご支援ありがとうございます！

1/25 「あいおいニッセイ同和損保(株)」様より寄付金を頂きました。

1/28 「MS&ADインシュアランスグループホールディングス」様より寄付金を頂きました。

3/18 「（公財）イオン環境財団」様より助成金を頂きました。



和 白 干 潟 の 春 の 自 然 だ よ り (山本 廣子)

春に咲く花 春の和白干潟沿岸には、ハマダイコン、ハマエンドウ、ハマヒルガオ、ツルナ、テリハノイバラなど可憐な花々が咲きます。お花畑のような和白干潟を見に来ませんか。



ハマダイコン

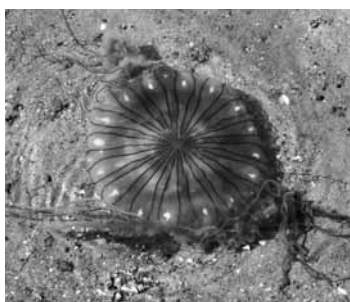


ハマエンドウ



ハマヒルガオ

干潟のクラゲ



アカクラゲ

春一番に干潟に現れるのはクラゲの仲間です。今年はアカクラゲが一番でした。傘の直径10cm。刺胞毒が強いそうですので、触らないように。触手が髪の毛のように多いカミクラゲが一番の年もありました。少し暖かくなるとミズクラゲがたくさん出てきて、沿岸に流れてきます。和白干潟沿岸を縁取るように並んで、乾燥していきます。河口では虹色に光るクシクラゲの仲間も見ることがあります。和白干潟は玉手箱のように様々な生きものを見せてくれます。



並んだミズクラゲ

春の渡り鳥

3月～5月の和白干潟には南からの渡り鳥が次々と飛来します。ハウロクシギ、オオソリハシシギ、オバシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、メダイチドリ、チュウシャクシギ、アオアシシギなどです。数羽～30羽程の小群で渡ってきて、和白干潟でしばらく羽を休めます。和白干潟のカニやハマトビムシやゴカイなどを食べて、また北へ旅立ちます。20年前に比べて和白干潟へのシギ・チドリたちの渡来数が減ってきており、心配です。回復することを祈っています。



オオソリハシシギ



オバシギ



キアシシギ



ソリハシシギ



メダイチドリ



アオアシシギ

12月6日「福岡空港ヘリポート排水機能強化」についての説明会



令和2年3月26日に福岡空港回転翼施設（奈多ヘリポート）が共用開始されました。現在、全国各地で防災・減災・国土強靱化の取り組みが推進される中、防災対応及び報道機関等のヘリコプターの拠点となっている奈多ヘリポートにも、台風や豪雨に備えた浸水対策としての排水機能の強化を図る必要があるとのことで、国土交通省九州地方整備局による説明会がありました。

豪雨発生時にヘリポートの運用や周辺事業者に影響が出ないように排水機能の強化を図る必要があるため、これまでのヘリポート施設内における「場内排水」だけではなく、海への「場外排水」についても調査・検討したいとのことでした。場外排水案として海への排水を考えており、北側の玄界灘と南側の博多湾の2つの案が上がっているとのことです。コストと環境を考慮して、調査・検討して2022年の1月までに改めて報告するとのことでした。1月26日にその回答があり、博多湾側に決定されたそうです。博多湾の環境への影響が出ないか心配です。（山之内）

1月15日山・川・海の流域会議主催「新春講演会」がありました。

今年の新春講演会は、「和白干潟の海底湧水」について、海藻研究所の新井章吾氏に講演をお願いしました。海底湧水とは、波打ち際近くの浅い海底から出てくる湧き水のことです。山や平地に降った雨は、地面にしみ込み地中を流れていきます。その真水によって、砂地にしみ込んでろ過された海水が押し出されて湧いてくるそうです。この海底湧水は、ミネラルと酸素を豊富に含み海の生き物たちに恵みを与えてくれます。

和白干潟は日本の中でも素晴らしい干潟だそうです。その重要性について話したいとのことで、今一番重要なことは山の整備（木を植える、間伐実施）をして、山の保水力を高めることだそうです。また、護岸工事はコンクリートを使わずに自然護岸にし、道路や家庭の庭も、降った雨が地中にしみ込みやすくし、休耕田をなくすことなどを話されました。（山之内）



新井章吾氏

3月25日「諫早干拓開門命令を無力化」の判決が出ました。

和白干潟を守る会は干潟を守る観点から、諫早判決の経緯に注目してきました。

国営諫早湾干拓事業（長崎県諫早市）をめぐる、潮受け堤防排水門の開門を命じた確定判決の「無力化」を国が求めた「請求異議訴訟」の差し戻し控訴審判決で、福岡高裁は3月25日、国の請求を認め「開門の強制を許さない」とする判決を言い渡しました。この判決が確定すれば、開門確定判決は事実上効力を失います。漁場回復のために漁業者側が求めてきた開門の実現は一層遠くなります。問題解決を先送りしてきた国の怠慢。司法の限界。有明海沿岸に生きる漁業者や農業者を踏みにじり、漁場の回復や環境変化の原因究明をしようとしないう国に怒りを感ずります。国の大型開発事業は、地元の分断を招きます。人々を分断しない開発をめざしてほしいと心から願っています。（山本）

● 気が付いたらあなたも電話してください！

▼海辺のゴミやアオサをとってほしい時・自分でゴミを拾った時
092-282-7146（港湾空港局維持課）

▼沖のアオサをとってほしい時
092-282-7154（港湾空港局みなと環境政策課）

● 傷ついた野鳥を見つけた時 092-513-5611 福岡県筑紫保健福祉環境事務所（地域環境課）
092-643-3367 福岡県環境部自然環境課野生生物係

＊ ＊ お 願 い ＊ ＊

- 干潟でのゴルフの練習やラジコン・ドローン等を飛ばすことはやめましょう！とても危険です。
- 干潟や堤防でゴミを燃やすのはやめましょう！（ダイオキシン発生防止、ゴミの野焼き禁止）





活動日誌

(山之内 芳晴)

● 2021年12月

- 12/4 (土)「バードウォッチング in 和白干潟2021」
(和白干潟保全のつどい)
12/5 (日) 2021年度冬期シギ・チドリ調査 1回目(今津)
12/6 (月) 観察会グループ会議/福岡空港ヘリポートの排水機能の強化についての説明会
12/9 (木)「和白干潟保全のつどい」会議 参加
12/12 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会 福岡支部)
12/13 (月) あいおいニッセイ同和損保(株)の寄付寄贈式
12/14 (火) 和白干潟通信140号 編集会議
12/15 (水) 2021年度 冬期シギ・チドリ調査1回目
(博多湾東部)
12/18 (土) 定例会議/和白干潟クリーン作戦と自然観察
12/21 (火) 事務所の年末大掃除



きりえ「和白干潟・夕暮れの時」

ご案内

くすだひろこ きりえ 展

・ 和白干潟 散歩 ・

日時：5月7日(土)～ 5月31日(火)

11:30～15:00

17:30～20:00

会場：レストラン「花もも」(日祝休)

福岡市東区唐原3-7-6

TEL：092-673-0563

● 2022年1月

- 1/9 (日) 2021年度冬期シギ・チドリ調査 2回目(今津)
1/9 (日) 和白海岸 探鳥会(日本野鳥の会 福岡支部)
1/15 (土) 山・川・海の流域会議「新春講演会」参加
1/17 (月) 和白海域 水鳥調査/2021年度 冬期シギ・チドリ調査 2回目(博多湾東部)
1/18 (火) 和白干潟通信140号発送会
1/22 (土) 定例会議/和白干潟クリーン作戦と自然観察
1/25 (火) 観察会 案内状 発送会



● 2022年2月

- 2/1 (火) 2021年度冬期シギ・チドリ調査 3回目
(博多湾東部)
2/6 (日) 2021年度冬期シギ・チドリ調査 3回目(今津)
2/10 (木)「和白干潟保全のつどい」会議 参加
2/26 (土) 総会/臨時定例会議/
和白干潟クリーン作戦と自然観察



きりえ「シャリンバイ実る和白干潟」

干潟のつぶやき 「和白干潟のアサリを大事にしよう」

農林水産省は、令和3年10月から12月末までの3か月間に全国の小売店1,005店舗でアサリの産地表示の状況を調査しました。その結果「国産」の中に多くの「外国産」が混入していることが分かりました。調査期間に全国で3,138tのアサリが販売されたとの推計結果になり、原産地別の販売割合は<表-1>のとおりであり、日本全国のアサリの漁獲量は<表-2>のとおりとなります。熊本産の実際の年間漁獲量は、339トンであり、熊本産のほとんどのアサリが産地偽装をされていたことになります。

1970年代後半から全国でコンクリートの材料として川底の砂が採取され、海辺の浜や干潟に堆積する砂が減少し、アサリの生育環境が悪化していますが、和白干潟では天然のアサリが獲れる環境が保たれています。

和白干潟のアサリを大事にしましょうね。



表-1



表-2

和白干潟と私 5

1974年に故郷の和白に帰ってきた私は、和白干潟が全面埋め立てられる計画があるのを知って大変残念に思いました。テレビニュースを見ていたら、日本野鳥の会福岡支部主催の「和白海岸探鳥会」が行われているのを知って、参加するようになりました。私が遊んで育った和白干潟は、珍しい鳥たちも飛来する渡り鳥の宝庫だと知りました。ミヤコドリやダイシャクシギにも初めて会いました。カモやカモメ、サギなどしか知らなかった私には、和白干潟がまぶしく写りました。自然が好きな人たちとも知り合い、和白干潟の植物や生きものたちも大切な自然の一員だと思いました。

皆さんの意見も聞いて私は、和白干潟を埋め立てないでと「和白干潟保全願い」の請願書を作成して、1987年に福岡市議会に出すことにしました。手伝ってくれる友人もあり、1週間で約300名の署名を集めて、請願書と一緒に提出しました。請願書の紹介議員は地元の自民党系の福政会の議員2名と社会党議員2名がなってくれました。私の父が社会党でしかも和白町内連合会の



和白海岸探鳥会のようす

会長をしており、快く紹介議員になってくれたのです。県知事も社会党の方でした。福岡市はパークポート埋め立て計画を審議中でしたが、「環境に配慮するように」という環境庁の意見書や県知事の意見書も出て、和白干潟保全には追い風になったと思います。私の請願書は奇跡的に採択されて、和白干潟は残ることになったのです。「和白の地元から埋めないよとの意見が出たことが大きかった」と後に港湾局長が言っておられたと聞きました。

(山本 廣子)

トピックス

あいおいニッセイ同和損害保険(株)寄付寄贈式がありました

あいおいニッセイ同和損害保険(株)は環境保護活動の一環として、ペーパーレス保険証券やWeb約款を導入し、その契約件数に応じて環境保護活動を行っている団体を支援しています。2014年よりその寄付金が頂けることになり、2021年も12月13日「和白干潟を守る会」事務所で寄付寄贈式が行われ、同社福岡支店の村山支店長から、山本代表が目録を頂きました。会員の会費と皆さんからの寄付金を守る会の活動を支えています。このようにして頂ける寄付金はとてもありがたいです。貴重な寄付金を大切に使っていきます。



新型コロナウイルスに関する和白干潟を守る会の対応について

和白干潟を守る会では、「自然観察会」や「クリーン作戦」を新型コロナウイルス感染防止のため以下のように取り組んでいますので、よろしくお願いいたします。体調の悪い人は参加しない(主催者側も、参加者側も)。各自がマスクを着用し、手を消毒する。消毒用アルコールも準備するが、団体参加の場合は団体側で消毒用アルコールを準備してください。望遠鏡(特に接眼部と持手)は消毒し、受付用品なども消毒する。これまでクリーン作戦では、お茶・お菓子を用意していましたが、各自で飲み物を持参してください。密状態にならないように気を付ける。これらの対応は当分の間実施します。

守る会問い合わせ窓口

ホームページ: <http://wajirohigata.sakura.ne.jp/>

入会/観察会(申込等) 山之内 芳晴 Tel 090-8412-2663

クリーン作戦 田辺ス ミ子 Tel 090-1346-0460

広報/調査/定例会議 山本 廣子 Tel/Fax. 092-606-0012

干潟まつり 中嶋 伸子・松尾 満子 Tel 090-9651-8489 (松尾)



お知らせコーナー

和白干潟のクリーン作戦と自然観察のおさそい

● 日時：4月23日(土) 15時～17時

「全国春のビーチクリーンアップ2022」「2022干潟・湿地を守る日」参加

★集合：和白干潟 海の広場 (東区和白4丁目海岸)

★問い合わせ：090-1346-0460 (田辺)

★主催：和白干潟を守る会



和白干潟

和白海岸を歩こう (山・川・海の流域会議主催)

● 日時：6月11日(土) 10時～12時

★集合：9:45 西鉄「唐の原」駅前 (海の広場でも可)

★参加費：無料 ★問い合わせ：090-2397-1424 (松田)

定例スケジュール

● 定例会議 (4/23, 5/28, 6/25)

毎月第4土曜日12時～14時 守る会事務所にて開催。

以下は参加自由です。仲間が待っています！

● クリーン作戦と自然観察 (4/23, 5/28, 6/25)

毎月第4土曜日15時～17時 和白干潟・海の広場集合

※長靴があると便利。駐車場なし。

● 和白海岸探鳥会 (5/8, 6/12, 7/10)

毎月第2日曜日9時～12時 JR和白駅前の和白公園集合

参加費：日本野鳥の会 会員100円、一般300円

主催：日本野鳥の会福岡支部

★ 会員募集中！

年会費 個人 2,000円

団体 5,000円

★ カンパの協力お願い

郵便振替 01720-4-23860

和白干潟を守る会

★ ボランティアへのお誘い★

和白干潟の清掃、鳥の調査のお手伝い (車の運転、記録)、観察会のお手伝い (写真撮影) などです。

参加をお待ちしています！

和白干潟の鳥たち (その97)

チュウシャクシギ (チドリ目 シギ科 / Whimbrel) 中杓鷗 [全長 42cm]

チュウシャクシギは旅鳥で春と秋に和白干潟に立ち寄りますが、春の方が多く見られます。干潟上を数羽～30羽の群れで動き、コメツキガニを捕っています。嘴は長くて下向きに曲がっています。ダイシャクシギよりも小さくて嘴も短いです。雌雄同色で全体に褐色をしています。飛び立つ時に大きな声で「ピピピピピピ」と鳴きます。東南アジアやオーストラリアなどで越冬し、シベリアなどで繁殖しています。10年ほど前に、和白干潟で60羽の群れに出会いました。クロツラヘラサギも10羽以上の群れになっていました。干潟でシギやチドリの群れに出会うと、胸がドキドキします。またたくさん来てくれますように！ (山本 廣子)



(写真撮影：三宅 僚)

【編集】 今林 眞由美・松藤 真理奈・山本 廣子・山之内 芳晴・田辺 スミ子・松田 元

《カット》「香椎保育所」の子どもたち・くすだ ひろこ

★次号は 2022年7月に発行予定★



【編集後記】 昔の人は遥かなる玄界灘を眺めながら、広い海に向かい何を思っていたのだろうか。今の博多湾は埋め立てられ狭くなり、高層ビルがどんどん建ち並び様変わり。渡り鳥にとって、中継地や越冬地の和白干潟がだんだんと狭くなって困っているのではないかと思います。(松田 元)

